

主催：臼井地区コミュニティ協議会



小学生による創作ダンスを披露



### 狸の婿入り行列を100年続くお祭りに

臼井地区全体でひとつになれるお祭りを、という願いから始まった「狸の婿入り行列」は第16回目を迎えた。2018年は、本祭の「狸の婿入り行列」をプロデュースし直し、お祭りとしての質を高めることに取り組んだ。狸の婿入り行列が100年続くお祭りになるように願いを込め、ダンス制作にLata氏、音楽制作に伊藤晴輝氏、お面制作に林僚児氏を招へい。衣装やお面等も見直した。参列者や子どもたちがプロと共に制作に挑むことで、自らが担い手になっていく仕組みを作った。こうして作り上げられた婿入り行列は荘厳な雰囲気を醸し出し、前年の「ほら貝を時々吹いてただ歩くだけの行列」から、参加したくなる行列へと進化。今回のダンス制作は、臼井小学校3年生の授業に組み込まれた。彼らは100年後の小学生が踊ってくれるように願いを込めて、積極的に創作ダンスに取組み、Lata氏のディレクションによって完成した。自分たちが作った

ダンスに誇りを持っており、やらされ感はまるでなく、楽しんで踊っている様子がとても微笑ましく、また見に来た地域住民も大変喜んでいた。小学生のうちに自分が担い手だという意識づけをすることで、中学生、さらには成人した後も、この祭りに誇りを持つ人材を育成する仕組みが作れたと思う。見学者たちは今まで行列には参列せず、会場に残って地域住民の踊り披露などを見ていたが、今回は子供たちのダンスが途中で入ったこともあり、みんなで参列する仕組みをつくれた。また、小学生の参加が加わったので、子狸としての参列が周りに波及し、小さな子供たちもメイクをして参列している様子も見受けられた。今回のダンスは小学3年生だけでなく全校生徒が最終的に踊れるようになる予定であり、たぬきのまち臼井としてのブランディングに今後も学校ぐるみでチャレンジしていくことに繋がった。

- 10月8日(月・祝) 狸の婿入り行列・創作ダンス披露（臼井地区）